

国語 理学部、医学部

□一 現代文

- 問一 a カタヨ b ヒボウ c 採択 d 浸透(滲透) e サカノボ f 配慮 g ホウセツ h 発揮
i ソガイ j 促進

問二 幸せとは何かが検討されないまま開発された情報通信技術が、人々の心身を常に緊張状態に置いたり、分断の状況を生むなど、人々を抑圧するような問題を生み出しているから。(八〇字)

問三 ウェルフェアは社会的弱者を、その固有の状況を考慮せずに、福祉の対象として保護し救済するのに対し、ウェルビーイングは個人を固有の状況を持つ能動的な主体と捉え、その自律的な活動や自己実現を通して、より豊かな福祉を実現する。(二〇九字)

- 問四 A イ B ウ C ア D ウ

問五 個人の心の中に生じる心身が良好な状態を対象とする個人主義的な視点ではなく、集団的に価値をつくりあうという考えに基づく集産主義的な視点に立つことで捉えられる、人と人との間やコミュニティと公共の場に生じる心身が良好な状態。(二〇九字)

問六 曖昧なウェルビーイングの状態を、診断を通じて測定可能なものとするなどして精細に捉えること。(四十五字)